

## 《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月13日（月） 午前10時から（会 場：雷門区民館）

### ◇台東区住みやすい町として

質問	回答	対応
<p>今日、住みやすい町として経済誌で7年連続1位の千葉県印西市があげられます。身近に川や公園、緑が多く配置され、多数の企業が進出し続けています。</p> <p>台東区も今後住みやすくするための再開発がされるか、お聞きしたいです。</p> <p>まずは、奥浅草地区、隅田川沿いの花川戸地区で今後どのような計画があるか、特に奥浅草地区は「旧東京北部小包集中局跡地」のことも含めて、教えてください。</p>	<p>浅草地域のまちづくりについては、平成19年度策定の「浅草地域まちづくり総合ビジョン」に基づいて、進められてきました。</p> <p>花川戸地区では、浅草地区の玄関口に相応しい交通機能の更新や交通拠点の整備を推進しています。</p> <p>現在、奥浅草地区、花川戸地区を含む浅草地域の20年後の将来像とまちづくりの方向性を示す「浅草地区まちづくりビジョン」の策定を行っているところです。理想の将来像やその実現のために、どのような計画を立てていくのが良いのか、まちの皆様や関係者と協議しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>また、「旧東京北部小包集中局跡地」については、現在、活用に向けて必要な調査や検討を行っており、北部地域および区全体の活性化に資する拠点の1つとして、方向性を早期に打ち出せるよう、取り組んでいるところです。</p>	—

◇ふるさと納税の収支問題

質問	回答	対応
<p>世田谷区の2023年度の納税流出額は97億円位で深刻な問題です。</p> <p>台東区では現状としていかがでしょうか。</p> <p>また、「ふるさと納税担当」部署を設立してはいかがのでしょうか。</p>	<p>ふるさと納税による令和5年度の税収の減収額は、約17億円の見込みとなっています。令和4年度は約14億5千万円で年々増加傾向にあり、本区においても深刻な問題になっていると認識しています。</p> <p>一方、区では令和3年から、産業支援および地域経済の活性化を図るため、返礼品を活用したふるさと納税を実施しています。</p> <p>民間サイトおよび返礼品を活用したふるさと納税の寄附の受領実績は、3年度が約9千万円、4年度が約3億円となっています。</p> <p>返礼品は、地場産品や伝統工芸品といったものだけでなく、区内での宿泊や食事、文化・産業・観光体験なども揃えています。</p> <p>なお、「返礼品を活用したふるさと納税」については、現在、企画課経営改革担当において業務を担当しています。</p> <p>今後も、返礼品を活用したふるさと納税を推進することにより、産業支援および地域経済の活性化を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇田原小学校の大規模改修に伴う避難所機能について

質問	回答	対応
<p>「今後30年以内に70%の確率で発生する」と予測される首都直下地震や荒川決壊等の災害に備えて、雷門地区5町会および浅草寿地区3町会により避難所運営委員会を設立して避難訓練、対策会議等を行っています。指定避難所の田原小学校は来年度から大規模改修工事が開始されます。</p> <p>本工事に伴い、以下の2点についてご回答をいただきたくお願いします。</p> <p>①工事により、現時点で各町会に避難先として指定されている教室が使用できなくなった場合の代替措置</p> <p>②現存する災害備蓄品の収納場所の確保と、今後増加することが明らかな備蓄品の収納場所確保への対策</p> <p>特に②については、予定地の現場を確認し、スペースが足りないと考えています。</p>	<p>田原小学校の大規模改修に伴い、教室等の避難スペースが一時的に使用できなくなるため、その代替場所については仮設校舎に可能な限り確保してまいります。</p> <p>また、現在の備蓄品も移設先を校地内に確保するとともに、今後の備蓄の収納場所についても、今回の大規模改修を捉えて、屋上の既存の器具庫等を転用するなど、可能な限り建物内に倉庫を設置できるよう、教育委員会と協議して進めてまいります。</p> <p>危機・災害対策課からご連絡しますので、ご心配な点やご要望等をお話しいただければと思います。</p> <p>※令和5年11月、質問者に現状の備蓄品について、大規模改修時も移設先の校内に確保していく旨を説明しました。（危機・災害対策課）</p>	<p>◎</p>

◇コミュニティについて

質問	回答	対応
<p>田原小地区コミュニティ委員会では、放課後および休日における学校開放の調整を行っています。翌月分の利用受付を学校に予定を尋ねながら、25日に開催していますが、学校でも把握していない「スポーツ広場」「スポーツ推進委員会」「障害者スポーツ」等の利用詳細の連絡がありません。そのため利用施設のバッティングが生じています。</p> <p>区民課の協働・コミュニティ係から教育委員会に問い合わせさせていただいたところ、「区のホームページをご覧ください。2か月前には載せています。」との回答があったそうです。</p> <p>学校施設は教育委員会の管轄ですが、活動拠点となる小学校等の施設を利用して、集会、文化・スポーツ活動を行いながら、様々な地域貢献活動を推進している区民課 協働・コミュニティ係に施設利用の情報を伝えていただけないでしょうか。</p>	<p>田原小学校体育館の水曜日、土曜日の夜間については、区の「スポーツひろば」事業で、年間を通して使用しています。水曜日はスポーツ推進委員が企画するポッチャなどの各種スポーツ教室と、土曜日は卓球を実施しています。学校へは、毎年3月下旬に翌年度の施設使用の協力依頼をしているところです。</p> <p>田原小学校の体育館の利用にあたり、バッティングが生じているとのことですので、学校開放の調整について、副校長、田原小地区コミュニティ委員会および区民課の三者で確認の場を設けさせていただければと思います。</p> <p>後日、担当の区民課からご連絡しますので、お話しいただければと思います。</p> <p>※令和5年11月、質問者にコミュニティ委員会側が使用できない日について説明しました。（区民課）</p>	<p>◎</p>

◇「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」について

質問	回答	対応
<p>「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」について、本年度具体化している施策で、特に浅草地区の取り組みについて教えてくださいませんか。</p>	<p>台東区では、基本構想で掲げている基本目標の1つに「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」があり、その実現に向けて「文化」「産業」「観光」の力を活かした取り組みを行っています。</p> <p>本年度の取り組みをいくつかご紹介させていただきますと、年8回の連続講演会や、浅草寺の僧侶が案内する散策ガイドツアーなど、「学び」の視点で江戸の歴史と文化の魅力に迫る「江戸・たいとう学」を実施しています。</p> <p>また、2025年の大河ドラマが「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」に決定しました。主人公の蔦屋重三郎は、現在の台東区千束に生まれ育ち、浮世絵をはじめとした江戸文化に多大な影響を及ぼした人物です。区ではこれを契機に大河ドラマを活用した様々な事業を実施し、地域振興に取り組んでまいります。</p> <p>ほかにも、「文化の力による産業と観光の振興」の視点から、浅草神社等にご協力いただき、浅草神社の歴史を学ぶ有償モニターツアーを来年2月に実施します。ツアーでは、浅草神社の宮司による講義や、屋形船に乗船し、隅田川にちなんだ落語鑑賞、歴史解説などを予定しています。</p> <p>観光を通じて歴史や文化を学んでいただくことで、内外に地域のファンを増やすとともに、収益の一部を文化資源の保護に充てることで、持続可能な観光振興を図ってまいります。</p> <p>今後もこれらの施策を総合的に展開していくことで、「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」たいとうの実現を目指して、取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>